



作者:小栗こぐり

森の子ども図書コーナー No.154
交流サロンぼすと内



『少年の木 希望のものがたり』
マイケル・フォアマン/作・絵
柳田邦男/訳
(岩崎書店)

少年達の遊び場は戦争により、すべて破壊され、がれきの山になり、廃墟と化してしまっただけで、まわりには鉄条網がはりめぐらされ、兵士たちが見張っている。そんなながれきのなかには、ちいさな緑の芽がひとつ。そのちいさな芽は、けんめいにいきようとしていくことだけは少年にはわかった。少年が育てた芽はすくすくとおおきくなりやがてその木は鉄条網の高さにまでとくようになりました。ところがある日兵隊達が出てきて、少年の木をすべて引きぬいてしまった。この枯れ果てた街に、あのちいさな命をよみがえらせることは出来るのか?



今月は17冊! / ※()内作者名

も〜とずぼらヨガ(崎田ミナ) /被災地から学ぶ かぞくの防災(日本アムウェイ財団) /土砂災害と避難(佐藤丈晴) /みんなの防災えほん(山村武彦) /心理学でわかるひとの性格・感情辞典(渋谷昌三) /もぐらはすごい(アヤ井アキコ) /ファーストラヴ(島本理生) /しき(町屋良平) /送り火(高橋広希) /写真は「構図」でよくなる(山田芳文) /わけあって絶滅しました。(丸山貴史) /英単語の語源図鑑(清水建二・すずきひろし) /1分で話せ(伊藤羊一) /この血の流れ着くところ(滝田愛美) /秘録 島原の乱(加藤廣) /むすびつき(富中恵) /道具箱はささやく(長岡弘樹)



思春期の男の子が親に求めていること
(中野日出美/大和出版)

「叱つたらいいの?見守ってほしいの?」三千組以上の親子関係を見てきた心理セラピストが、男の子特有の問題への対処法をやさしく解説。心と体、人間関係、勉強、親子関係、危機行動のほか、親が与えるべき力の力として、してはいけないことも書いてあります。同じ著者の「女の子」の本もあります。



地に滾る
(あさのあつこ/祥伝社)

藩政の刷新を願った天羽藩士の子・伊吹藤士郎は、人が行き交い、物が溢れる江戸の大地を踏み締める。裏長屋で暮らし始め、讀屋での職も得て、町方の暮らしの身軽さを知る藤士郎だが、実は讀屋は。人生に漕ぎ出した武士の子は、貧し、迷い、慟哭しながら、自由に生きる素晴らしさを知る。

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」
道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介!
「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します

道草便り Vol.6



9月9日、今月は宮地区を取材しました!健康推進を目的としたグラウンドゴルフを終え、交流会館で地区の皆さんが集まっているところに駆け込み取材!部屋に入った時にはたくさんのおかずとお酒とカラオケ。そして、笑顔の歓迎があり、宮地区の第一印象は「パワフル!」。

当初の予定は宮地区のお宮さんとニラの取材をしよう!と伺いましたが、人の魅力に触れて、様々な話をしました。誰かがボケたらツッコミをして、それが自然にできて集まりは地区の力が強いのだなあと感じ、まさしく心の健康運動でした。私たち大学生を孫や子供のように迎えてくれるあたたかさは、実家よりも強いかもしれませぬ(笑)。

若者は元気を与えることができるけれど、お互いに元気を与え合えるのも大切だと教えてくれる宮地区でした。

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四三〇回

みどり葉の揺れる深山の瀧涼し
娘が去りて幾年の空遠火花
星川 きえ子

常夏の碧き潮浴びフラダンス
うす茜ワインゼリーに入れる匙
岸 あき子

耳朶打ちぬ千本杉の蝉時雨
日矢射して樹林は愈緑濃く
高橋 洋子

神室路の裾を広げる釣船草
多忙なり帰燕間近かな夏つばめ
鵜沼 よし子

新蕎麦ののびてしまひしそは談義
何するもひとりは一入炎暑かな
伊藤 敏子

女郎花咲けば古里偲びけり
碑の文字のうすれや雁の声
阿部 サタエ

お天気は神へ託して笠踊り
足早に亡夫を迎へや盆の宵
荒屋 阿部 勝子

気忙しく過ぎ行く日々や秋蛭
山麓の清々しさをや秋の蟬
菅越 庄司 けみ子

並び立つ崩れ笑ひの案山子かな
夢のせてゆつくり揺らぐ稲穂かな
七日町 青柳 キエ子

優しさの満ちし静寂や盆の月
天空をふところにして大花火
七日町 柴田 栖静

盆踊り子等のかけ声高かりし
懐かしや友を偲ばす盆の月
羽場 坂本 徳太郎

老ひとり同居の蜘蛛と鬩ぎ合ひ
愛でられて後は雑草杉菜引く
上台 阿部 一

滝しぶき浴び日光の旅終る
厄日過ぐ田表見廻る農夫かな
七日町 村松 奈風

音頭とる客は昭和の祭りびと
付度の彩には勝てぬ蔦紅葉

かねやま紅風会